

1
2 民衆新聞
3
4
5
6
7
8
9
10 山下繁夫
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20 山岸川岩次郎

本章講中の主動的人物は山崎繁夫にして、古身廿三才福岡縣取上郡黒土村大字黒田の孝子、東京一徳祥学校を卒業す。

本章講を先路に導せしめたる原因は、現場主任古内代が一人を喚問し、説得せし聲を度訪問を^{幹部}添^部に十二人より内通者を生せしに因る。

本章講同のストロイキを断行するや代素を説いて、縣上廳と新聞社を訪問して了解を求め、亦他縣よりの上の援を拒絶する等、頗る佐賀市民の